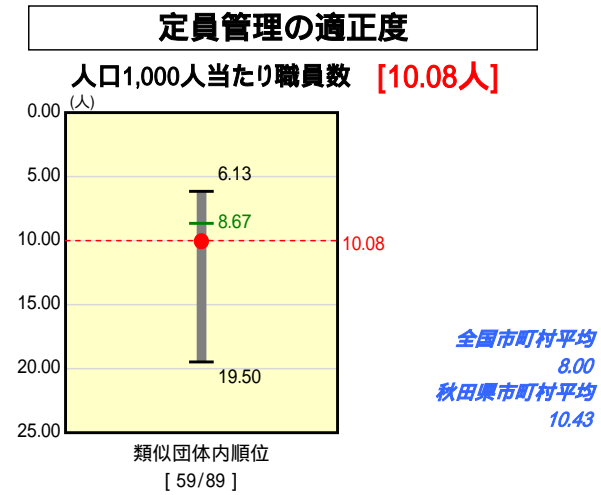
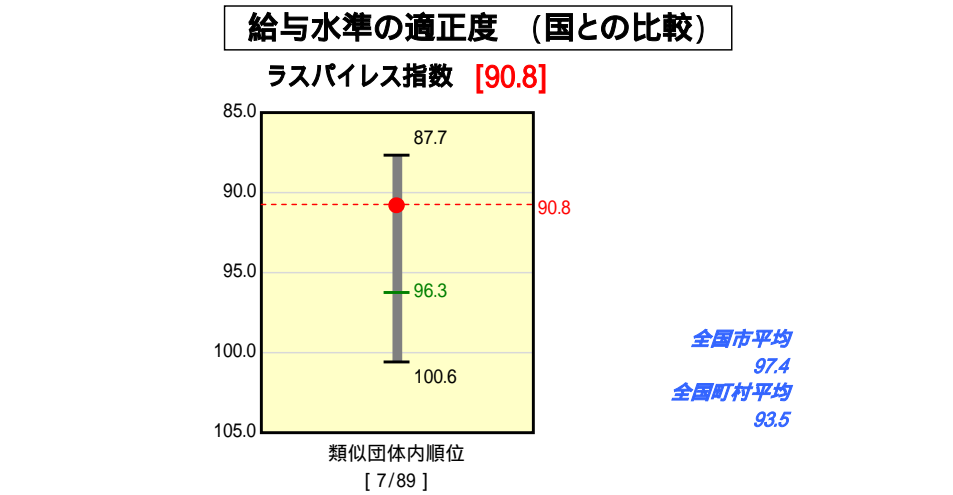
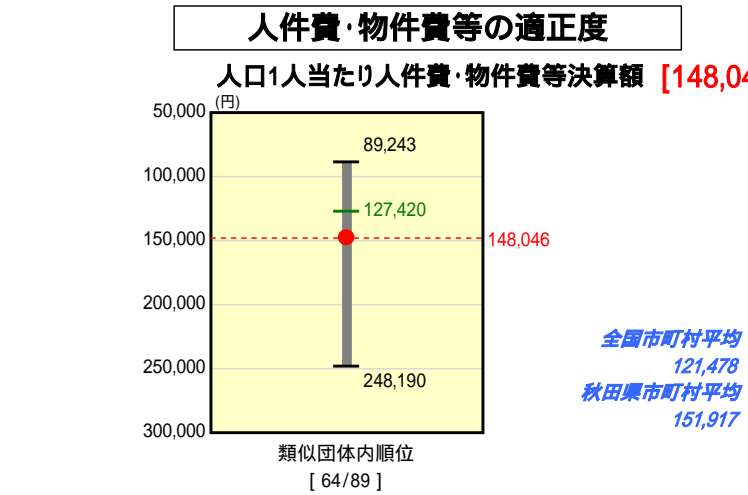
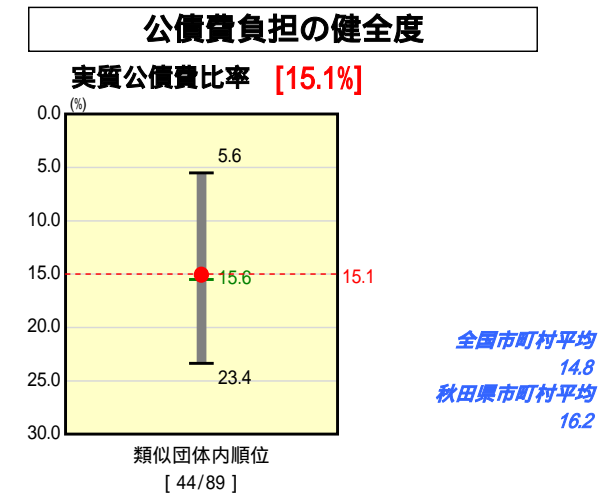
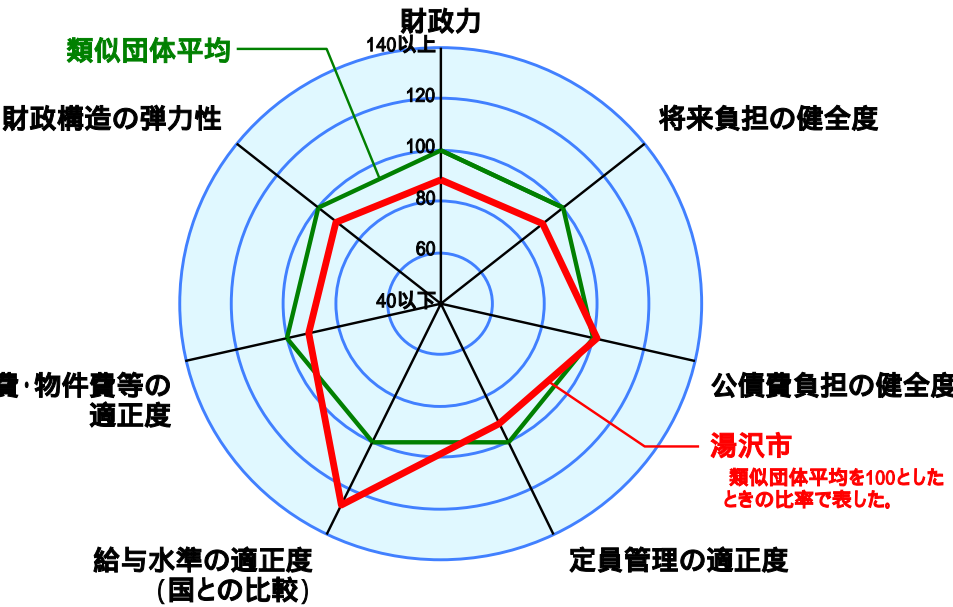
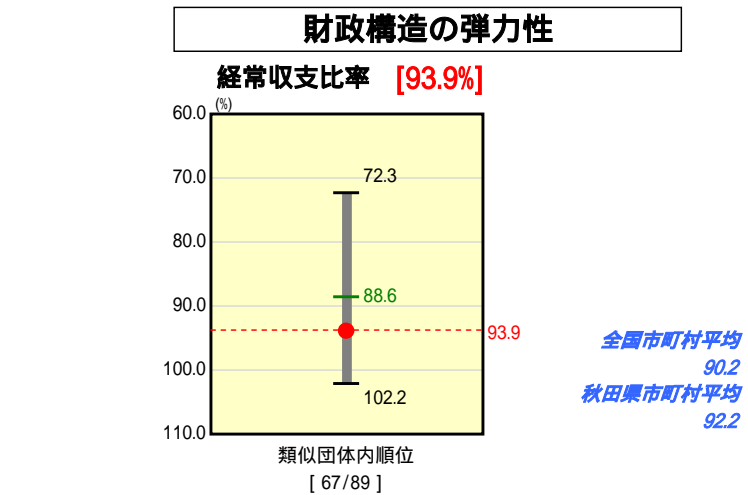
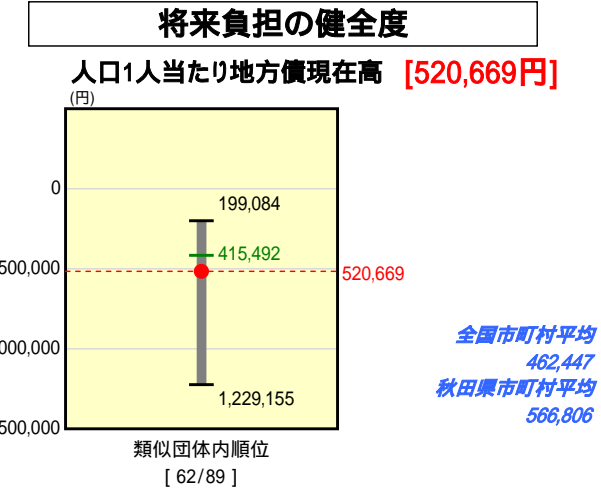
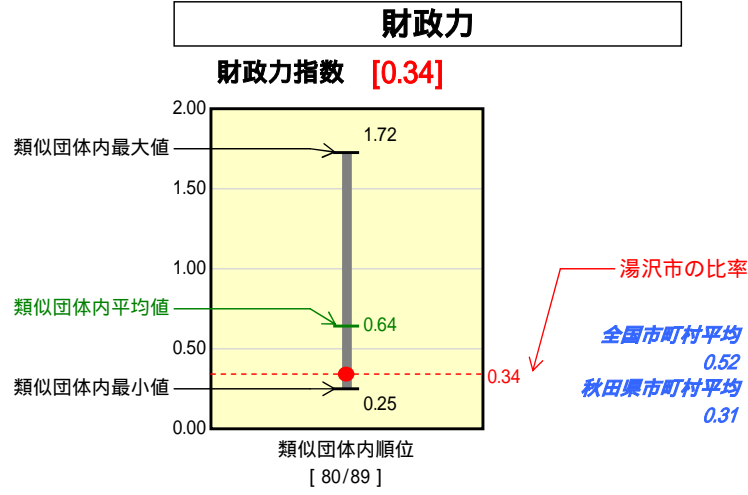


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

秋田県 湯沢市

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 56,326 | 人(H18.3.31現在) |
| 面積 | 790.72 | km ² |
| 歳入総額 | 27,545,288 | 千円 |
| 歳出総額 | 27,020,748 | 千円 |
| 実質収支 | 401,926 | 千円 |



分析欄

【財政力指数】…人口の減少や全国平均を上回る高齢率に加え、基幹産業である農林業、地場産業の不振などから財政基盤が弱く、類似団体の中では89団体中80位となっている。当湯沢市は、平成17年3月22日に旧湯沢市・稲川町・雄勝町・皆瀬村の四市町村が合併し誕生したばかりであり、組織機構・事務事業の面において必ずしも効率的であると言えない。この厳しい財政状況のなか、住民サービスの維持・向上、行政課題の解決に向けた新たなまちづくりを推進して行くためには、18年3月に策定した「湯沢市行政改革推進プログラム」をもとに、徹底した事務事業の見直しや行政運営の効率化等を推進し、財政基盤の強化を図って行かなければならない。

【経常収支比率】…前年度より1.3ポイント減少したものの、類似団体中67位の93.9%と高水準である。普通交付税の増加(782,662千円、9.3%増)が要因であり、国庫補助負担金の一般財源化、生活保護経費の増加、合併特例による加算措置等によるものだが、普通交付税が増加する以上に経常経費は増加し、また、国庫補助金等の特定財源が減少している現状であるため、率低下は一時的なものと考えている。対応策としては前述の【財政力指数】と同様。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】…類似団体平均からは20,626円上回り、秋田県市町村平均からは3,871円下回っていて、類似団体中64位となっている。対応策としては前述の【財政力指数】と同様。

【人口1人当たり地方債現在高】…前年度に比べ残高は1,820,295千円(6.6%)増加している。学校建設や社会福祉施設の建設など旧市町村で行政課題解決やサービス向上に向け積極的に実施した事業の財源として地方債を発行したことが要因である。今後は新規発行額を抑制し、財政の健全化を図っていく。

【実質公債費比率】…類似団体の平均を若干下回っているものの、今後も事業の取捨選択をし、起債の償還額等の抑制に努め、引き続き水準を抑える。

【人口1,000人当たり職員数】…基本的に退職者の補充は3分の1とし、21年度まで約10%の削減を目指す。今後も行政サービスを維持しつつ、組織のスリム化、事務事業の見直しを図り、適切な定員管理に努める。

【ラスパイレース指数】…類似団体平均からは5.5ポイント、全国市平均からは6.6ポイント下回っていて、類似団体中7位である。今後も現状を維持していく。